

千歳市営牧場

〒066-0011 千歳市駒里1032番地の1ほか
0123-23-4170
0123-23-4170
千歳市
財団法人 道央農業振興公社
近藤 和彦



牧場の概要

項目		設置当初（平成6年）			現 在		
牧 場 面 積		180ha			220ha（内デントコーン20ha）		
事 業 内 容		夏期放牧			周年預託		
預託頭数	家畜の種類	乳 牛	肉 牛	馬	乳 牛	肉 牛	馬
	夏期頭数	330			400		
	冬期頭数	160			240		
	夏期料金（町内）	18ヶ月以上 230円 18ヶ月未満 150円			18ヶ月以上 230円 18ヶ月未満 150円		
	（町外）						
	冬期料金（町内）	18ヶ月以上 310円 18ヶ月未満 250円			18ヶ月以上 310円 18ヶ月未満 250円		
	（町外）						
職 員 数		正職員5名 臨時職員1名			臨時職員6名		

牧場の紹介

千歳市の畜産業は、厚い火山灰に覆われている土地のため農業者が多くの困難に耐え、農業の自立を試した末の一つの方法として明治37年に酪農が芽生え、現在では乳用牛飼育頭数、牛乳生産量、肉用牛飼育頭数、豚飼育頭数、鶏卵出荷量いずれも石狩管内一の水準にあります。

千歳市営牧場は、昭和38年北海道の空の玄関口である新千歳空港に隣接する美々地区で夏季放牧を開始し、平成6年現在地駒里に新築移転、夏季は放牧、冬期はサイレージ等の供給による舎飼いをを行い、周年で搾乳期までの預託牛の育成を担い、市内酪農家の負担軽減を図っております。

当財団法人道央農業振興公社は、平成17年から千歳市の委託を受け、その後指定管理者として管理運営しております。

牧野は、市道及び河川等により大きく9ゾーンに分断されているため、追込柵・家畜乗降施設・放牧草地の更新など各ゾーンの連携を図り有効活用に努めるとともに衛生管理にも力を入れ、利用する酪農家が安心して牛を預託できるよう管理運営体制の充実に努めます。